

編集後記

長年にわたり本誌の編集を担当されてきた金原出版の山下真人氏が、2019年末をもって定年退職を迎えられた。1990年以来、29年間にわたり353号におよぶ雑誌の編集作業をほとんど一人でこなしてこられた。1990年当時の編集委員といえば、山内裕雄先生、鈴木勝己先生、加藤文雄先生というわが国の整形外科のレジェンドともいえるべき錚々たる顔ぶれである。これらの偉大な先生方を相手に編集作業をしていくのは若き日の山下氏には相当なプレッシャーだったに違いない。しかし、長い年月を経て、今や山下氏に訊けば、整形外科分野の主要な先生の苗字・名前はスラスラと出てくるし、過去の掲載論文や特集も「ああ、それは確か〇〇年の〇号あたりに掲載されていたはず」と素早いレスポンスが帰ってくる。まさに「整形災害外科の生き字引」のような存在である。山下氏の退職は、本誌にとって大きな痛手であるが、業務は後任の若手編集者にしっかりと引き継いでいただいている。山下氏もしばらくは定年後再雇用という形で社内におられるとのことである。これまでの山下氏のご尽力に心から感謝と労いの意を表するとともに、今後も引き続き側面からのサポート・ご助言をお願いする次第である。

それにしても山下氏はまだ60歳である。現代の60代は外見も中身も若々しい人が多い。政治家の世界では、60代はまだまだ「鼻たれ小僧」なのだそう。実は筆者も今年61歳であり、高校時代の同級生たちが「俺も去年で定年になってさあ」と言うのを聞いて、「そうか自分もそんな歳か」などと気付かされているのだが、皆元気で、能力もヤル気も持て余している。世

は「人生100年時代」といわれる一方で、労働力不足や特殊技能の後継者不在などの問題も取り沙汰されている。経験・知識・技能に溢れた60代さらには70代のパワーをいかに有効に活かしていくかは、まさにわが国の「働き方改革」における重要な鍵となるのではないか。

今月号の特集は、渡邊耕太先生のご企画による「整形外科医が知るべきスポーツ内科学」である。スポーツ医学が、整形外科だけでなく内科をはじめとする多くの医学分野からなる総合医学であることはあらためていうまでもない。本特集では、循環器・呼吸器などの内科領域のみならず婦人科、皮膚科など、スポーツ選手の診療には欠かせない医学的知識が多角的に解説されている。いよいよ目前に迫ってきた東京2020では、選手の医学サポートや救護に整形外科医の力が大いに期待されているが、そこにおいても本特集は役立つに違いない。

東京2020といえば、IOCによるマラソン・競歩会場の突然の札幌移転が物議を醸している。東京の猛暑回避がその理由だが、われわれ札幌市民としては素直には喜べない複雑な心境である。そもそも7~8月という真夏の東京開催という会期設定に問題があるのは明らかであるが、その背景には多額の放映権料を支払う米国テレビ局の都合があるらしい。商業主義や多くの利権が渦巻く現在のオリンピックの在り方を、一度根本から考え直す時期に来ているのかもしれない。

(山下敏彦)

「整形・災害外科」第63巻 第1号 (1月号) 2020年1月1日発行 (毎月1回1日発行) 定価 (本体 2,500 円 + 税) 年間購読料金 定価 (本体 39,400 円 + 税) [年間13冊 (臨時増刊号, 増大号を含む) の誌代] [年間予約購読者に限り送料無料]	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14 TEL 03 (3811) 7165 [編集室直通] TEL 03 (3811) 7184 [営業部直通] FAX 03 (3813) 0288 http://www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 日本医学広告社 TEL 03 (5226) 2791
---	---

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。